

<児童・生徒指導部会 子ども未来プロジェクトチーム>

【児童生徒の実態】

・自らあいさつをすることのできる児童生徒がいる。その反面、あいさつを返すことさえできない児童生徒もいる。

【部会のねらい】

- ・あいさつやコミュニケーションを基に、基本的な生活習慣を身に付けることができる。
- ・地域とのつながりを理解し、感謝を伝えることができる。

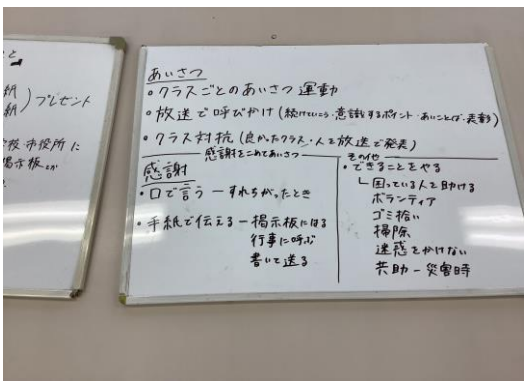
視点	<A> 教育課程の工夫改善	 教育活動の連続性の確保	<C> 教職員間の連続・協働	<D> 家庭・地域との連携・協力
----	------------------	--------------------	-------------------	---------------------

取組	・小中交流あいさつ運動 ・地域について考えるアンケートの実施（それをもとに小中代表生徒での話し合い） ・話し合い活動（R6テーマ：輪）
成果	・あいさつ運動を通して先輩としての意識が高まった。また、あいさつをしようとする児童生徒が増えた。 ・小・中学生との交流で良い刺激を受けることができた。 ・R6のテーマ「輪」の視点から、地域とのつながりについて話し合い、考えを深めることができた。
課題	・あいさつ運動で中学生の人数が多いため、怖いと感じる児童がいた。配置を考えていく必要がある。 ・どの活動も期間を絞って行ったため、継続性が欠如した。

地域について考える話し合い



意見の共有



テーマ「輪」についての意見交換

